

「南アルプスユネスコエコパークミュージアム」の開館

1. 要 旨

「南アルプスユネスコエコパーク」は、山梨県、長野県、静岡県の3県10市町村にまたがっており、東京都のおよそ1.5倍の面積があります。また、標高3,000m級の山々が連なり、ライチョウ生息地の世界的な南限としても有名で、豊かな自然と、固有種や氷河期の遺存種など、希少な種が数多く生息しています。

この南アルプスの豊かな自然環境や井川地域の歴史・文化を発信、継承する拠点として旧井川小学校を再整備し、2025年7月12日(土)、「南アルプスユネスコエコパークミュージアム」を開館します。

開館当日は、オープニングセレモニーを実施するほか、キッチンカーなどの出店、蕎麦打ち体験、スペシャルトークセッションなど、開館記念イベントを開催します。

2. ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的として、1976年にユネスコが開始した事業で、「豊かな生態系を有し、地域の自然資源を活用した持続可能な経済活動を進めるモデル地域」です。2024年7月時点で、世界759地域、日本国内10地域が登録されています。

ユネスコエコパークの基本的な考え方は、「手つかずの自然を守るだけでなく、そこに暮らす人々の生活や文化を尊重し、自然と共存していく」というものです。

そのために、ユネスコエコパークは、生物多様性を守る「保存機能」、持続可能な発展のための研究調査、教育の場としての「学術的研究支援」、自然環境と人間との共生のモデルとしての「経済と社会の発展」の3つの機能を有しています。

また、この3つの機能を果たすための3つの地域が存在します。

「核心地域」は、国立公園の特別保護地区など、法律やそれに基づく規制により自然環境を守らなければならないエリアです。

「緩衝地域」は、自然の仕組みなどを学ぶ活動や自然を利用したレジャーなどの取り組みが行われるエリアです。

「移行地域」は、人々が居住しており、有機・無農薬農業など自然と共生した経済活動を行うエリアです。

静岡市は、「南アルプスユネスコエコパークミュージアム」を拠点に、南アルプスにおける保全活動等の担い手の拡大や来訪者の増加につなげます。

【次頁あり】

3.「南アルプスユネスコエコパークミュージアム」の概要

- ・南アルプスの貴重な自然環境や、自然の恵みに育まれた井川地域の暮らしなどをパネルや映像展示で紹介し、「人と自然の共生」の大切さを伝えます。
- ・ミュージアムを拠点に、南アルプスの自然保護活動や井川地域の周遊、地域の歴史文化を体験するプログラムを実施するなど、地域の活性化に繋がる取組を展開します。
- ・来訪者が、南アルプスや井川地域の魅力にひかれ、「生態系の保全や井川地域の持続的な発展」の取組に積極的に関わりたいと共感し、ミュージアムを中心に「共働・共創の輪」が広がることを目指します。

【施設概要】

施設名	南アルプスユネスコエコパークミュージアム【愛称 M:I(エムアイ)】(※1)
所在地	静岡市葵区井川708-1 ※静岡駅周辺市街地から車で約120分
開館日・時間	木・金・土・日曜日(基本週4日開館)及び祝日 の10時～16時(※2)
入館料金	無料(但し、企画展示室(講義室)は利用料金制)
運営事業者	株式会社 FIEJA(フィージャ)

※1 M:I(エムアイ)は、「南アルプス」と「井川」の頭文字から名付けられ、南アルプスや井川地域の自然と文化を守り伝える、「未来への一歩」という思いも込められています。



1 / Minami alps : Ikawa
「南アルプス」と「井川」の頭文字

2 / Mirai : 1歩
「未来への一歩」

南アルプスユネスコエコパークミュージアムは
南アルプス・井川地域の自然と文化を
未来へ向けて一歩ずつ、守り伝えていきます。

※2 詳細は、南アルプス・井川地域の魅力や価値を発信する「南アルプス de 深呼吸」(URL:<https://nanpusu.jp>)または FACEBOOK「南アルプスユネスコエコパークミュージアム」(URL:<https://www.facebook.com/mi.ikawa.museum>)をご確認ください。

【フロア案内】

・1階

【南アルプス展示エリア】

- ・南アルプスの成り立ちや多様な植生、希少な高山植物の現状などテーマごと紹介していきます。
- ・南アルプスの生物多様性や人々の営みについて共感・理解を深めてもらいます。



【パノラマシアター】 ・美しく雄大な南アルプスの山々と貴重な動植物の姿を没入感のある映像により体感いただけます。 ・映像を通じて自然環境の保全や、地域の持続的な発展など様々な課題を提起します。	
【井川のくらし展示エリア】 ・井川地域で行われてきた焼畑農業を中心とした、伝統行事、信仰、暮らしの道具などのつながりを通じて、自然と共生してきた人々の営みを紹介します。	

・2 階

【カフェレストラン・体験室】 ・「レストラン赤石」では、井川湖を望む心地よい空間で、ジビエ料理や、在来野菜、茶そばなどをお楽しみいただけます。 ・体験室では、今後在来作物の料理体験やそば打ち体験など、地域の食文化体験講座を開催していきます。	  カフェメニュー :ジビエバーガー、雑穀ごはん
--	---

4.南アルプスユネスコエコパークミュージアム開館記念イベント

日程:7月12日(土) 11時～16時

会場:南アルプスユネスコエコパークミュージアム(静岡市葵区井川 708-1)

(1) オープニングセレモニー/パネルディスカッション

「ミュージアムと共に描く井川の未来」をテーマに、静岡市長とミュージアムの名誉館長を務める静岡大学客員教授 増澤武弘(ますざわ たけひろ)氏、ミュージアムを運営する株式会社 FIEJA CEO 永松典子(ながまつ のりこ)氏の3名が意見交換を行います。

【次頁あり】

(2) 物販・飲食・蕎麦打ち体験等

キッチンカーなどの出店

- ・井川地域や川根本町などと連携したマルシェを開催するほか、南アルプスの自然や風景をVRで体験できるコーナーやボルダリングを楽しめるアクティビティコーナーなどをお楽しみいただけます。
- ・井川蒸溜所のウイスキーや在来作物を使用したお菓子など南アルプスにちなんだ商品や登山用品を販売します。

「レストラン 赤石」オープン

- ・ミュージアム2階「レストラン赤石」で提供する「ジビエバーガー」と「雑穀ごはん」を販売します。南アルプスの自然の恵み、井川在来作物など、ここでしか味わえない食もお楽しみください。

蕎麦打ち体験会

- ・そば職人の田形治(たがた おさむ)氏による「リバウエル井川」でのそば栽培のお話と在来 蕎麦粉 100%の十割蕎麦を打つ特別な体験会です。
 - ・ご自身で作った蕎麦を、井川在来野菜の天ぷらと共に実食していただきます。
- 申込方法:事前予約フォームからお申し込みください。(定員 24 名、先着順)



(3) スペシャルトークセッション

静岡市消防局の山岳救助隊員で、昨年 12 月に開催した「南アルプスユネスコエコパーク 10 周年記念大会」で静岡市が「南アルプスをみんなに知ってもらい大使」に任命するなど、多方面で活躍中の望月将悟(もちづき しょうご)さんと、登山家で日本人初の 8,000m 峰全 14 座を登頂された竹内洋岳(たけうち ひろたか)さんによる「山と向き合う それぞれの流儀」をテーマとしたトークセッションを行います。

担当:環境局 環境共生課(054-221-1357)